

## Contents

各教育委員からのメッセージ— 1
平成22年度「新しい教員の評価」の試行— 2
平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰について— 3
平成21年度徳島県教育委員会関係職員表彰について— 3
平成21年度徳島県藍青賞受賞者一覧— 4
平成21年度「学校版環境ISO」認定校一覧— 5
とくしまの食育— 6
あなたは「ヒヤリ・ハット」したことがありますか?— 7
公益通報制度のお知らせ— 7
教育次長からのメッセージ— 8
新教育委員の紹介— 8
人権教育の研究指定校の取組について— 8

## 教職員に期待するもの — 教育委員からのメッセージ —

### 山田 喜三郎 委員長



今日の社会は、少子高齢化の進行や、国際化、情報化の急激な進展によって目まぐるしく変化しています。

子どもたちには、このような厳しい社会を力強く生き抜くため、確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「生きる力」をしっかりと身につけさせる必要があります。そのためには、教育に対する熱い情熱、プロとしての教育力、使命感と責任感、さらに高い倫理感を持って子どもたちと向かい合っていただきたく思います。そして、「徳島県教育振興計画」の基本目標である「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」を学校・家庭・地域が一体となって具現化していこうではありませんか。

### 佐藤 盛仁 委員長職務代理者



改正教育基本法をうけて、本県も、平成20年策定の徳島県教育振興計画で「郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり」という基本目標を定めました。「徳島の子どもをこのように育てたい」という大きな方向性が定められたことは、子どもたちや教育者にとって大きな安心になったと思います。そして、この大きな方向性を定めた上で、各市町村、学校による、それぞれの地域性やアピールしたい特色に基づいた、魅力ある学校づくりが行われることを楽しみにしています。「やりたいことがここにある」という徳島、「ここで育ってよかった」という徳島、そんな徳島の教育が行われていくことを心より祈っています。

て、この大きな方向性を定めた上で、各市町村、学校による、それぞれの地域性やアピールしたい特色に基づいた、魅力ある学校づくりが行われることを楽しみにしています。「やりたいことがここにある」という徳島、「ここで育ってよかった」という徳島、そんな徳島の教育が行われていくことを心より祈っています。

### 水口 艶子 委員



「教師」は数ある職業の中でも、「大切な大切な仕事」です。「教育」は人が表わすものであり、同じマニュアルで教えても子どもへの響き方はその先生によって違ってきます。何よりも先生方の「感性」が大事です。先生方自身の毎日の生活を感性豊かなものにしていただき、どの年齢の子どもにも「人が生きる」とは

どういうことなのか、そのモデルとなっていたらいいと切に願っています。「〇〇先生に会える」と毎日喜んで学校に行く子どもの姿には、「よき理解者」を感じていることがうかがえます。教科を教える前に、ひとりの人間として「思いやり」を行動化してくだされば嬉しく思います。

### 西池 氏裕 委員長職務代理者



今、求められている「生きる力を育む」という理念は個々の児童生徒が社会の生存競争に打ち勝つための力をつけさせる、という意味だけで解釈すると不十分だと思います。人を思いやり、人として社会に貢献するための力を育むことこそ、真に人間としての

「生きる力を育む」ことになると思います。そして人間としてのあるべき姿、社会を良くしていこうとする熱い思いを生徒一人ひとりに伝えていくことができるのが先生方だと思います。徳島ならではの教育の根底には人を思いやる「お接待の精神」が流れているはずで

### 佐藤 紘子 委員



子どもたちを取り巻く社会環境や家庭環境が大きく変化し、学校における教育内容が増えてきている状況にあります。教師の本命は授業であり、子どもに「学ぶ力」をつけ、ともに切磋琢磨する学習集団を育てていくことが求められます。日々の実践において、迷い悩むこともあると思いますが、あきらめず、丁寧に、誠実に、子どもたちに向き合ってほしいと願っています。そして、教職員みんながしっかりと連携し、助け合い、学校の総力で子どもたちに力をつけていきましょう。

子どもたちを取り巻く社会環境や家庭環境が大きく変化し、学校における教育内容が増えてきている状況にあります。教師の本命は授業であり、子どもに「学ぶ力」をつけ、ともに切磋琢磨する学習集団を育てていくことが求められます。日々の実践において、迷い悩むこともあると思いますが、あきらめず、丁寧に、誠実に、子どもたちに向き合ってほしいと願っています。そして、教職員みんながしっかりと連携し、助け合い、学校の総力で子どもたちに力をつけていきましょう。

## 平成22年度「新しい教員の評価」の試行 平成22年度からすべての教諭等を対象に「自己申告・自己評価」を試行します

教職員一人ひとりのさらなる資質向上につながる「新しい教員の評価」の試行を発展的に継続していくために、今までの「すべての管理職を対象とした試行」「試行校の教諭等を対象とした試行」に加え、新しく、すべての教諭等を対象に自己申告・自己評価を試行します。

### 「新しい教員の評価」のねらい

教員評価の最終的な目的は、その実施を通じて、児童生徒に対する教育の質を高めていくことをねらいとしています。この点を踏まえれば、教員一人ひとりの資質向上につながるものとしていくことが重要です。また、評価においては、評価する者とされる者との信頼関係が重要であり、評価を通じて両者の相互理解が進み、すべての教員が、学校の教育目標の下、それぞれの課題に主体的に取り組んでいけるようにすることが求められます。こうしたことから、教員評価の在り方として「能力開発に活かせる評価」「学校組織の活性化につながる評価」「信頼される評価」の3点を重視しています。

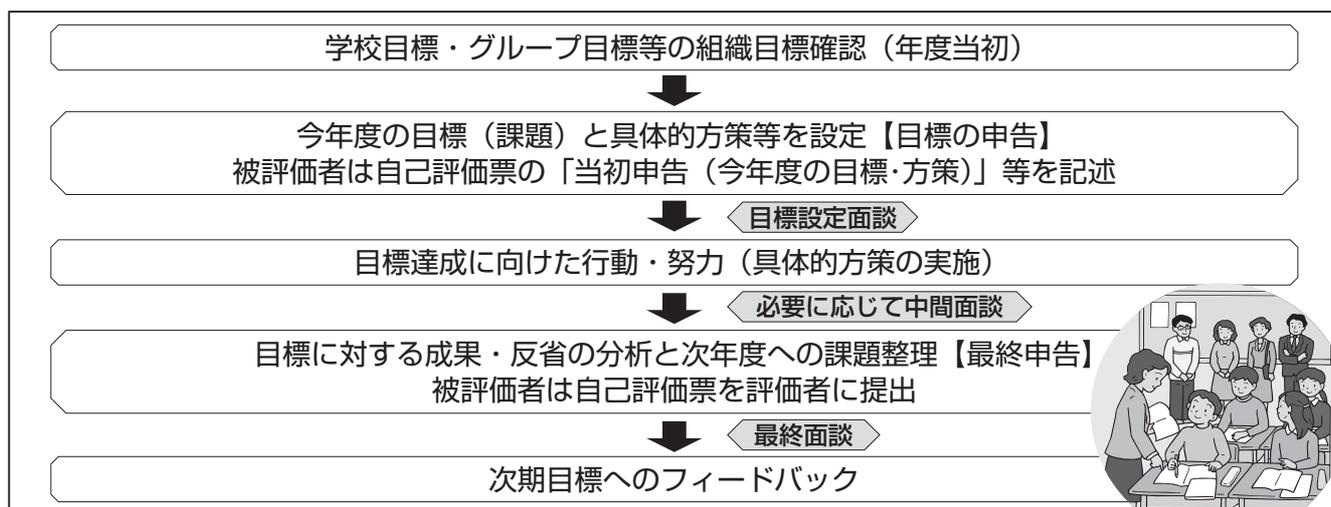
### 「自己申告・自己評価」のねらい・流れ

教職員一人ひとりが、年度当初に職務遂行上の自己目標を設定し、その達成に向けて主体的に教育活動を展開し、年度末に達成状況や取組状況等を自己評価することにより、さらなる成長を図ることをねらいとしています。

なお、教職員が設定する今年度の目標は、学校の教育目標（本年度の重点目標）と関連付けて設定し、学校として組織的・意図的に諸課題に取り組めるようにします。

#### 【対象】

県立学校・公立小中学校の主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、  
実習主任、実習助手、主任寄宿舎指導員、寄宿舎指導員



### 「自己申告・自己評価」で魅力的な学校に

「授業がよくわかる」「学級が楽しい」「行事が待ち遠しい」という思いをもつ子どもが多い学校は、教員のやる気がわく働きがいのある学校です。

児童生徒の生き生きした姿を求めて、教員一人ひとりが自らの教育活動を改善したり、学校の教育目標の達成に組織的に取り組んだりする「自己申告・自己評価」に前向きに取り組み、子どもはもちろん教員にとって、より魅力的な学校を創造していきましょう。

# 平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰について

文部科学省は、平成18年度より学校教育に顕著な実績を挙げている教育職員を表彰しております。平成21年度は、全国で843名（内公立学校は740名）、本県からは8名の方々が表彰され、2月16日に表彰伝達式が県庁で行われました。

被表彰者のお名前とご功績の概要は、次のとおりです。

## ○稲井 悦子指導教諭（徳島市内町小学校）

「総合的な学習の時間」や「外国語活動」について造詣が深く、他市町村の講師としても招聘される等、指導的な立場で活躍し、大きな成果を上げた。

## ○藤本 智子教諭（美馬市立脇町小学校）

音楽の指導において、その楽しさや、仲間と協力して合奏曲を完成していくすばらしさを子どもたちの心に着実に浸透させることができている。

## ○矢野 修教諭（鳴門市撫養小学校）

子どもたち一人ひとりに寄り添った適切な指導を行い、保護者からの信望も厚い。子どもたちに積極的にかかわり、日頃から長所を伸ばす指導を心がけている。

## ○岡 喜代美教諭（鳴門市第一中学校）

特別支援教育のリーダーとして、生徒や保護者の多様な教育的ニーズに応えるべく、関係機関等との連携に努め、学校の取組の改善を図っている。

## ○吉岡 敏子教諭（勝浦町立勝浦中学校）

教務主任として教職員の中核となり、日々の学校教育活動が活発かつ充実したものとなるよう、学校全体を見据えて学校の活性化のために率先して努力している。

## ○妹尾 陽子教諭（徳島県立名西高等学校）

音楽教育に優れた指導力を発揮するとともに、常に全校的な視野で学校の課題をよく把握し、開かれた学校づくりの立場から必要に応じ企画や提言を行っている。

## ○西岡 弘之指導教諭（徳島県立三好高等学校）

生徒の学力を向上させるために、日ごろから率先して教科指導の工夫・改善に努め、生徒に高度な資格を取得させるなど、他の教員の模範になっている。

## ○加村 賢治教諭（徳島県立国府養護学校）

教育課程編成の中心的人物であり、特別支援教育の経験のない教職員に対しては、指導・助言を行うなど、学校運営上なくてはならない存在である。



平成21年度 文部科学大臣優秀教員表彰伝達式（県庁にて）

# 平成21年度徳島県教育委員会関係職員表彰について

表彰された皆様方に心からお祝い申し上げます。

## ◆グループ表彰

### ○県立図書館応援事業担当職員一同

職員一同旺盛な熱意で県民や企業から図書の提供を募る県立図書館応援事業を企画し、読書サービスの充実に寄与した功績



# 平成21年度徳島県藍青賞受賞者一覧

徳島県藍青賞は、新しい時代をひらくたくましく心豊かな徳島の子どもの育成を期して、ボランティア活動等、自然体験・勤労体験学習等、児童会・生徒会活動等、困難を克服しての学業奨励・人命救助等、運動競技、研究・制作・表現活動等、創意に満ちた教育活動において優れた実績をあげた学校・園、グループ・団体、個人及びその指導者等に贈るものです。対象期間は、前期が1月1日から8月31日まで、後期が9月1日から12月31日までで、前期は11月、後期は2月に表彰しています。



平成21年度前期表彰式の様子

## ○地域社会におけるボランティア等

(学校・園全体)

市場小学校

## ○自然体験・勤労体験学習等

(学校・園全体)

木沢小学校

## ○運動競技

(グループ・団体)

トビウオ川内チーム

鳴門市第一中学校剣道部

山川中学校女子ソフトテニス部

藍住中学校男子柔道部

城ノ内高等学校男子登山部

徳島科学技術高等学校男子ソフトボール部

富岡東高等学校剣道部

徳島県国体バドミントン少年女子選抜チーム



徳島科学技術高等学校男子ソフトボール部

上八万中学校ソフトボール部

小松島中学校男子新体操部

美馬・岩倉中学校女子ソフトボール部

生光学園中学校新体操部

徳島市立高等学校女子弓道部

勝浦高等学校ライフル射撃部

徳島県国体弓道少年女子選抜チーム

徳島県国体ソフトテニス少年女子選抜チーム

(個人)

富岡小学校

福 良 郁 美

城西中学校

岡 本 昂

鳴門市第一中学校

田 淵 優 太

鳴門市第二中学校

笠 原 巧 巳

那賀川中学校

山 本 悠

神山東中学校

蔭 山 玖留美

藍住中学校

長谷川 綾 一

三好中学校

中 川 結 衣

徳島文理中学校

久 保 公 緒

城北高等学校

阿 部 旬 気

徳島市立高等学校

川 浦 龍 生

徳島科学技術高等学校

上 田 隆 太

小松島高等学校

久 米 康 平

勝浦高等学校

田 中 洋 平

鳴門工業高等学校

潮 崎 貴 幸

池田高等学校

白 井 康 裕

盲学校

白 井 博 之

生光学園高等学校

堀 千 晶

徳島中学校

金 森 望

城西中学校

折 野 翔 大

鳴門市第一中学校

原 佳 江

小松島中学校

山 西 咲 衣

鴨島第一中学校

阿 利 美 咲

北島中学校

富 山 美 和

藍住東中学校

中 内 亮 太

三加茂中学校

小 林 美菜子

城南高等学校

長 尾 京

城ノ内高等学校

中 矢 祥 子

城西高等学校

鳥 海 汐 里

小松島高等学校

湯 浅 菜 月

小松島高等学校

宮 本 光 治

勝浦高等学校

長 谷 士 元

美馬商業高等学校

岡 田 唯

池田高等学校

田 口 航

聾学校

美 馬 佑 耶

生光学園高等学校

伊 藤 真紀子

○研究、制作及び表現活動等

(グループ・団体)

八万南小学校ウィンドアンサンブル  
林小学校自転車チーム  
阿南中学校箏曲部  
城東高等学校百人一首部  
脇町高等学校科学同好会音声分析班

桑島小学校金管バンド部  
国府中学校吹奏楽部  
城東高等学校邦楽部  
城南高等学校美術部  
小倉百人一首かるた部門徳島県選抜チーム

(個人)

鳴門市第一小学校	佐川隼輔
足代小学校	木村美咲
徳島文理小学校	山口陸
南部中学校	林正基
阿波中学校	和田梨沙
阿波中学校	北浦万澄
穴吹中学校	横畠里沙
三好中学校	藤本春佳
城南高等学校	大松彩音
城南高等学校	藤本愛美
城南高等学校	黒崎裕子
城南高等学校	平川一樹
城ノ内高等学校	梶川友里
徳島中央高等学校	鈴江聡
鳴門高等学校	湯本千晴
阿波農業高等学校	小西祐子
徳島文理高等学校	十川麗美

林小学校	福富愛理
徳島文理小学校	近藤千洋
津田中学校	亀岡千夏
土成中学校	藤本智萌
阿波中学校	大星義喜
阿波中学校	谷義隆
藍住東中学校	米澤拓也
徳島文理中学校	十川和樹
城南高等学校	富永夕貴
城南高等学校	堀貫裕子
城南高等学校	久賀凧紗
城北高等学校	亀井礼奈
城ノ内高等学校	山野実保
富岡西高等学校	橋本悠美
阿波高等学校	木内桂吾
阿波農業高等学校	西田裕子

○創意に満ちた教育活動

(学校・園全体)

山城中学校  
貞光工業高等学校

(グループ・団体)

土成中学校少年少女消防隊



桑島小学校金管バンド部

○指導者等

日本ボーイスカウト徳島連盟  
池田 勝美

## 平成21年度「学校版環境ISO」認定校一覽



新規認証取得校の実践発表のようす

「学校版環境ISO」の認証取得を通して、明日の「環境首都とくしま」を担う人材を育成しています。「学校版環境ISO」とは、ISO14001などの環境規格を参考に、子どもたちと教職員が自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でごみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに継続的に取り組む活動を推進するものです。

平成21年度は高等学校や特別支援学校などすべての県立学校が認証を取得し、小中学校を合わせて「学校版環境ISO」の認証を取得した学校は、県下で192校となりました。

### 平成21年度「学校版環境ISO」認定校 (55校)

不動小学校	応神小学校	北灘東小学校	北灘西小学校	堀江北小学校	川崎小学校
長生小学校	桑野小学校	岩脇小学校	福井中学校	柿原小学校	伊沢小学校
清水小学校	箆蔵小学校	馬路小学校	三縄小学校	川崎小学校	山城小学校
大野小学校	大和小学校	下名小学校	西井川小学校	井内小学校	落合小学校
菅生小学校	名頃小学校	榎生小学校	西岡小学校	三庄小学校	西祖谷中学校
城南高等学校	徳島北高等学校	徳島市立高等学校	徳島科学技術高等学校(全)		
徳島科学技術高等学校(定)	徳島商業高等学校	徳島中央高等学校(夜定)			
徳島中央高等学校(昼定)	小松島高等学校	小松島西高等学校			
富岡東高等学校(全)	富岡東高等学校(定)	富岡東高等学校羽ノ浦校			
海部高等学校	鳴門第一高等学校	名西高等学校(全)	名西高等学校(定)		
脇町高等学校	辻高等学校	鳴門高等学校(定)	響学校	板野養護学校	
鴨島養護学校	ひのみね養護学校	阿南養護学校ひわさ分校			



家庭・地域と連携して進めよう

# とくしまの食育



県教育委員会では、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、本年度「子どもから発信！とくしまの食育推進事業」を展開してきました。その中から、代表的な取り組みを紹介します。

## ○ドクターズキッチン in スクール



本年度食育推進モデル地域指定を受けた、海陽町、上板町、石井町で「新鮮なっ！とくしま号」を使って「地産地消メニューの紹介」や、生活習慣病予防の観点からの講話などを行いました。

## ○「学校給食アイデア料理コンテスト」

親子を対象として、とくしまの地場産物を使った料理コンテストを、四国大学で開催しました。最終実演審査まで残った8組の親子が腕をふるいました。また、優秀作品は、「レシピ集」として各小中学校等に配布しました。

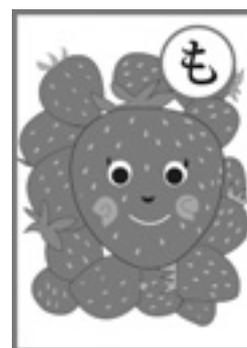


- 最優秀作品 「豆腐と仲良しゴーヤハンバーグ」  
徳島市昭和小学校 美馬諒太郎さん
- すこやか賞 「阿波尾鶏のおろし酢あえ」  
上勝町立上勝小学校 片山 雄斗さん
- だんらん賞 「そぼろ揚げ出し夏野菜」  
上勝町立上勝小学校 谷口 泰我さん
- 地産地消賞 「あわっこサラダ」  
徳島市沖洲小学校 西本 真衣さん



## ○「あわ食育かるた」

子どもたちが繰り返し、楽しく「食育」について学ぶことができるよう、「あわ食育かるた」を作成しました。この「かるた」の絵札の原画は、徳島科学技術高等学校総合デザインコースの生徒が、徳島市千松幼稚園と交流を重ねながら作成したものです。徳島県の地場産物や郷土料理を盛り込み、読札の裏にその解説を記載するなど「徳島ならではの」特色をだしています。



# あなたは「ヒヤリ・ハット」したことがありますか？

処分事由 H20年度	交通事故	わいせつ 行為等	体 罰	個人情報の不 適切な取扱い	そ の 他	合 計
懲 戒 処 分 者 数	422 (8)	160 (15)	140 (3)	75 (0)	262 (45)	1,059 (71)
訓告等を含めた総数	2,502 (135)	176 (108)	376 (155)	277 (134)	689 (490)	4,020 (1,022)

\* 「平成20年度 教育職員に係る懲戒処分等の状況について」（平成21年12月25日文部科学省報道発表）

\* ( ) は、非違行為を行った所属職員に対する監督責任を問われ懲戒処分等を受けた者の数で外数

上の表は、平成20年度中に全国の都道府県・指定都市教育委員会が、教育職員（公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）に対して行った懲戒処分の状況について、文部科学省が調査結果を公表したものです。全国ではこのようにたくさんの教職員が、教育に携わる者にあるまじき非違行為によって処分され、監督すべき立場の者もその責任を問われました。

しかし、このような不祥事は、何の前触れもなく起こったのでしょうか。もしかしたら、不祥事の芽となる「ヒヤリ・ハット」するようなことを見逃していたのかもしれない。

**一人ひとりの経験した「ヒヤリ・ハット」の体験を職場全体で共有し、  
予防策をこまめに実施することにより、不祥事の発生を未然に防ぎましょう！**

## ◆日常の事務処理の「ヒヤリ・ハット」の例

◇成績表を保護者に郵送しようと封筒に入れたが、念のため再度点検したら、同じ姓の生徒の成績表を入れ間違えていたことに気づいた。

→生徒の大切な個人情報に危うく漏えいし、生徒や保護者の信頼を失うところだった。個人情報や会計に係わる確認作業などは、一人だけで行わず、複数の人間で複数回チェックしよう。

## ◆交通事故の「ヒヤリ・ハット」の例

◇高速道路でよそ見をして車を運転していたら、センターポールに当たりそうになった。

→もし人間に当たっていたら大変な事故になっていた。よそ見はいけないし、スピードの出し過ぎにも気をつけないと、車は急に止まったり、避けたりすることができない。

## ◆わいせつ行為等の「ヒヤリ・ハット」の例

◇担当している部活動の女子部員たちに連絡のメールを送った時に、かわいいと思ってハートのマークを付けたら「先生、気持ち悪い。」と言われた。

→セクハラと受け取られる可能性もあったんだ。メールは連絡に便利だが、使用方法に注意しないと誤解を生んでしまうこともあるので気をつけよう。

## ◆体罰の「ヒヤリ・ハット」の例

◇準備室で1対1で生徒を指導していて、生徒の態度が悪かったので、カッとなって大きな声を出してしまった。

→冷静さを失っていたので、もう少しで生徒に暴力を振っていたかもしれない。冷静に適切な対応をするためにも一人で生徒指導に当たらず、必ず複数の教職員で指導に当たろう。

### □参考（「ハインリッヒの法則」とは）

1件の重大な災害の背景には、29件の軽微な災害があり、さらに、ケガにはならなかったが「ヒヤリ・ハット」した事故が300件あるという法則です。すなわち、重大な災害（不祥事）を未然に防ぐには、「ヒヤリ・ハット」を無くしていけばよいということになります。

## ◆公益通報制度のお知らせ◆

コンプライアンス推進室では、公益通報制度を担当しております。この通報制度は、教職員（但し、県教育委員会事務局・教育機関、県立学校に限ります。）の不正行為等を早期に発見し、速やかに是正に繋げ、法令遵守を推進するためのものです。通報は匿名でも可能で、個人情報は保護されます。

○通報窓口 徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

○通 報 先〔封 書〕 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

「教育委員会コンプライアンス推進室（公益通報）」宛

※「親展」と記載してください。

〔メール〕 [compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:compliancesuishinshitsu@mt.tokushima-ec.ed.jp)

## 教育次長からのメッセージ



### 井上京子教育次長

3月は学校の師走、一年のまとめと新しい年を迎える準備に、文字どおり先生は大忙しの月です。今年はまだ終わっていません。今年と同じ一年はもう二度と巡ってはこない。こう考えれば多少の感傷が胸をよぎらないでもありませんが、そんな思いを吹き飛ばす勢いで、今年を仕舞う諸々の煩瑣な作業が押し寄せます。

子どもたちも同様に、慌ただしく学年末を迎えます。そして、ほとんどの子どもたちは、きっと先生以上に、感慨や感傷に浸る間もなく、「今年」を巣立っていくのだと思います。ただ、伸びゆく者の当然として、子どもたちは、感傷や感慨の代わりに、開放感に加え、新しい年への期待や夢など、ほの温かい柔らかいものの手ごたえを感じつつの巣立ちではありません。

こうした慌ただしい「今年」のいつもどおりの積み重ねの中で、卒業式は、子どもも先生も来し方を振り返り、新しい年への決意を新たにす貴重な機会です。子どもたちの入学以来の成長とともに喜び、行く道に幸あれと心からの声援を送る、私の好きな学校行事です。

今、子どもから離れたところで3月を迎え、小さな心の痛みを感じながら思い返すのは、唯一無二、一期一会であったはずの一年一年を、恒例、慣例、惰性の中で送ってきたのではなかったか、カレンダーに導かれるままに3月24日をやり過ごしたのではなかったかということです。一人ひとりの力を伸ばすために、プロとしての責任感をもって修了式ぎりぎりまで努め、

「精一杯のことはした。もうこれ以上はできない、後は次の学年に託す。よろしく」と祈りを込めつつ送り出すべきものだったのとの自責の念です。

どの子にも、毎年度、卒業式があり、教師は責任をもって立ち会わねばならないのだと思います。学力の向上も体力の向上も、つまるところ教師次第ではないでしょうか。様々な要因は無論ありますが、一人ひとりの子どもとの二人三脚で、相方を一年間務めることとなった我々が、子どもに、家庭に、社会に、責任をもって働きかけることなしに、教育の再生は望めないと思うのです。スクラム組んでプロフェッショナルを目指しましょう。

## 新教育委員の紹介



### さとう ひろこ 佐藤 紘子 氏

三好登美子委員の任期満了に伴い、新教育委員に佐藤紘子氏が平成21年12月28日付けで就任しました。

#### 【略歴】

徳島大学教育学部卒業。

三好郡西祖谷山村吾橋中学校教諭、徳島県教育委員会事務局義務教育課指導主事、徳島市南部中学校教頭、徳島県教育委員会事務局義務教育課管理主事、徳島市教育委員会事務局学校教育課副主幹、徳島市入田中学校長、徳島市応神中学校長を歴任。

## 人権教育の研究指定校の取組について

県教育委員会では、文部科学省指定として小学校と中学校を、県指定として幼稚園と高等学校・特別支援学校を研究指定し、すべての校種において毎年取組を進めてきました。

今年度の取組の大きな成果としては、文部科学省から公表された「人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】」を踏まえ、学習計画や学習展開の中でできる限り、「協力的、参加的、体験的な学習」を取り入れた実践を行ったことが挙げられます。例えば、研究指定校においては、地域の人からの聞き取りなどを通して人権学習で学んだことを、テレビ放送体験でVTRに収録したり、学習発表会で人権劇にしたりして、保護者や地域の人に発信しました。

【第三次とりまとめ】では、知的理解を深めるとともに、人権感覚を育成するためには、単なる座学的方法にとどまらず、幼児・児童生徒が主体的に活動する「協力的、参加的、体験的な学習」が不可欠であると明記されており、県教育委員会ではこの指導方法を県内に広めていきたいと考えています。

各学校におきましては、今後も、【第三次とりまとめ】の趣旨を十分に理解した上で、人権教育のさらなる改善充実への取組を進めていただきますようお願いいたします。

なお、人権教育研究指定校の成果を県内一円に広めるため、人権教育課ホームページに公開授業の学習指導案・保育案を掲載しておりますので御活用ください。



辻高等学校での公開授業

## 医療法人 山田眼科醫院

広告

### ◎眼精疲労治療室開設

- ▶ 水晶体再建術 ▶ 角膜移植術
- ▶ 緑内障手術 ▶ 網膜剥離術
- ▶ 企業検診なども行っております
- ・入院設備有、急患随時受付

徳島市中通町2(えびす神社近く)

TEL 088-652-4843(代)

http://www.eye-yamada.com/



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○

※土曜日の午後は13:30~17:30です。

※午後~予約可

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日